

宮崎まちづくり活動団体情報

VOL 13



【宮崎まちづくり協議会】

人間環境大学の学生にまち協の活動を報告（会長 梅村順一）

〇宮崎まちづくり協議会の活動を視察体験

令和4年5月21日（土）と6月4日（土）の両日にかけて、人間環境大学環境科学部、環境データサイエンス科の学生44名をお迎えして「宮崎まちづくり協議会の活動」を報告しました。本年度新たに開設した学科の学外講座として実施されました。この学科は、地域が抱えている様々な社会・環境問題を「データ」という切り口から冷静に調査・情報解析技術により正しく理解し、新たな解決策を導く手法を学ぶところです。今回は、宮崎学区の現状を報告するとともに、様々な課題や問題を提起することを狙いとして宮崎まちづくり協議会の活動を、見学体験していただきました。

当日は、万足平の猪垣見学から始まり、森林組合長による「森を育てる技術講習」、林道中部線を散策しながら「奥平氏の歴史」を学びました。途中、「奥平氏の密談」があった久保城の遺構を見学しました。眞木宏哉さんより「奥平氏の決断により、徳川家の親族として名をはせるきっかけとなった城跡」であることを説明いただきました。次に室内にある絆の森整備事業地の見学や、「カフェ柚子木」の赤松弘一さんより、宮崎学区は、まちづくりの為に知恵を絞って活動していることとお話いただきました。地方からの出身者が多い中で、三河地方の五平餅を一人ひとりが手作りする体験をしていただきました。自分でこねてホセに刺しグリルで焼いて田楽味噌をつけるまでの作業を体験していただきました。「三河で学ぶ」と題した学外授業に多くの体感を得ていただけたと思います。午後からは、石原公民館をお借りして「宮崎まちづくり協議会の活動」をパワーポイントで紹介しました。



地域課題として少子高齢化による人口減少への取り組みがあり「宮崎ミライづくり員会」が発足したことを報告。また宮崎まちづくり協議会は、これまでの交流人口から関係人口の増加を願い、各委員会が同じ目標をもって将来の定住人口増加を目指していることを説明しました。地域の魅力を高めることで、毎年宮崎学区に定住してみたいと思う家族を増やしていきたいと伝えました。

2日間の研修を終え、人間環境大学環境科学部の皆さんが、研究の成果として宮崎学区の定住促進に寄与していただけることを期待しています。2日間の活動にご協力をいただいた特別講師、スタッフの皆さんに感謝を申し上げ活動報告とします。

【生活改善部会】

にぎわいづくり委員会(委員長 平木教男さん)

宮崎農協の支店における金融事業は、平成31年に終了することとなりました。これを受け宮崎まちづくり協議会は、この先購買店舗もなくなるのではとの懸念から「JA宮崎支店検討委員会」を立ち上げました。令和2年「にぎわいづくり委員会」と名前を変え、地域のにぎわいの拠点をつくることを視点に活動しています。令和4年3月末、農協店舗は令和5年3月中に閉鎖されるとの発表がありました。現在委員会では、その後の購買機能を何らかの形で維持するかどうかについて、農協営農産直部と中山間政策課にも同席いただき検討しています。3月の委員会は、農協からのデータをもとに「店舗の来店者数と売れ筋商品」について調べました。令和3年度の営業日223日の平均来店者数は38.9人で、冬場にやや減少するものの年間を通して大きな変化はないようです。担当課からの説明では、「住民組織が当番制で空き店舗を使って縮小した店を維持している例」や、「地域の賑わいの拠点にしている例」などを紹介いただきました。4月の委員会は、生活協同組合担当者にご参加いただき、農協移動購買車の充実を軸に地元の実態に合った食料品購入のしくみを考えていくことになりました。なお、今後の購買機能存続の必要性を検討するために、宮崎農協購買部に協力をいただき「農協購買利用者の地域別調査」をしていますのでご協力ください。



【くらがり活性化部会】

くらがり活性化実行委員会(新たな委員長に就任した 菅沼 弘さん)

薫風さわやかな季節の下、町内の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は県立自然公園くらがり溪谷の活性化活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。さて、この度当実行委員会委員長に任じられました菅沼弘(ヒロム)です。同時に、くらがり溪谷を管理運営する財団法人碧水会理事長にも任ぜられました。前委員長が新型コロナの蔓延という大きな社会変化の中で、行動力の速さと強力なリーダーシップによりくらがりの活性化にご尽力されたことに、心より感謝を申し上げます。前委員長の後を引き継ぎまして微力ながらくらがり活性のために誠心誠意努力して参る所存であります。今後とも町内の皆様方からのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



【教育環境部会】

歴史文化探訪委員会(委員長 清水力さん)

○令和4年度の歴史文化探訪委員会の目標

私たちの目標は、これまで活動してきた雨山城址・風越峠及び西蔵に加えて、天使の森を含んだ「山歩きマップ」を作成したいと思います。雨山ダムの駐車場に大きな看板を掲示して、山歩きの人や観光客に広く広報をしたいと思います。それぞれの場所に至る案内標識は、メンバーの権田幸雄さんが木製の道標を設置して頂いていますが、そのルートを一枚に表示することはできていません。掲示板の設置に向けて宮崎学区の予算付けをお願いしており、有効に活用したいと思います。



最近の活動では、令和4年5月15日午前5時頃、西蔵に登りダイヤモンド富士を見ようとしていました。雲がかかり見辛かったですが、見えたような気もしました。次回のチャンスは、本年7月28日午前5時頃です。

5月21日天使の森においてNPO法人アースワーカーエナジー主催の「山づくりボランティア」に参加。歴史部会のメンバー4名が、参加しました。山歩きルートの一つでもあり、その景観は素晴らしいものです。私たちは、景観をより良くしようと、遮る樹木の伐採等を行いました。また、意見を述べる機会があり、「雨山城址がここから見える」、「西蔵からは富士山も見える」とPRができました。参加した若い人は、登山が趣味で、友達を連れて来たいとも話してくれました。

今後の活動は、地域の歴史を学ぶために、宮崎街道の明見坂を見学します。実施日は、令和4年6月6日(月)午前9時、宮崎学区市民ホームに集合して出かけます。先人たちが苦勞して切り開いた街道を見学することで、今の自分たちにできることはないのかを考える良い機会だと思います。なお、淡路の石垣名人が造った石垣も見学しますのでご参加ください。

【サイクリング部会】

サイクリングの郷づくり委員会(新たな委員長に就任した 井畑 俊治さん)

この度、当委員会の委員長に就任した井畑俊治です。前委員長の積極的な活動により、宮崎学区においてサイクリストをお迎えする雰囲気醸成されるとともに、サイクリストからは地域の方と共に地域貢献活動を続けていきたいとお申し出をいただきました。田原坂のロードクリーン事業を今年も実施していきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

